

一般質問発言通告書

発言順位 11番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和6年11月26日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 19番 岡田 美喜子

質問事項1	新庁舎建設に向けた周辺整備について
具体的内容	本年11月、議員あてに新庁舎整備基本構想案が示された。本庁舎の築年数や庁舎施設の分散による来庁者の利便性や事務の効率化などの課題に加え、社会情勢の変化やDXの推進等、新庁舎整備の必要性は理解するところである。整備地については南二日町広場案が示されたが、市民からは大通りの来訪者が減少し街が衰退するのではないかとの不安の声がある。跡地利用をより明確にするとともに、知恵を絞って活性化を図る必要がある。 一方で、新庁舎建設に向けて、費用や防災、利便性、跡地活用等について検証され、交通アクセスについては、バス路線の見直しや三島二日町駅、国道1号の活用を見込んでいるが、南二日町に庁舎が移転した場合、周辺道路の渋滞緩和や歩道の安全、公共交通の利便性も考慮し、周辺地域全体を含めた整備が必要と考え以下を伺う。
	1 南二日町周辺道路の渋滞緩和について
	2 伊豆箱根鉄道三島二日町駅及び周辺道路の整備について
	(1) 三島二日町駅舎及び駐輪場の整備について
	(2) 三島二日町駅周辺等の道路整備について
	3 旧下田街道の活性化について
質問事項2	小学校への校内支援室設置等、教育環境の整備について
具体的内容	国の令和5年度調査によると、全国の小・中学校で30日以上欠席した不登校の子ども数は34万人を超え、前年比約4.7万人15.9%増加し、11年連続増加し、過去最多を更新し続けている。少子化が進む中、多くの子どもたちの学校離れが進んでいることは深刻な事態といえる。一方、文科省の「不登校の要因分析に関する調査」によると、不登校の小・中学生のうち、約30%は不登校を始めた年度内に学校へ再登校をはじめ、約85%は高校進学まで復学している。三島市は、ふれあい教室の他、中学校に校内支援室の設置が進んでいるが、小学生の不登校も増加傾向にあることから、早い段階での対策も必要である。 また、外国ルーツの子どもたちの日本語初期指導教室としても利用できるのではないかと考え、以下を伺う。
	1 不登校対策について
	(1) 不登校、別室登校の現状と相談件数及び内容について
	(2) 子どもたちへのサポート体制の充実について
	(3) 保護者に向けた学習会の開催について
	(4) 小学校への校内支援室の設置について
	2 外国人児童生徒の教育支援について
	(1) 日本語が全く分からない子どもの学校での様子及び支援状況について
	(2) 校内支援室を活用した日本語初期指導教室（プレクラス）の実施について
	(3) 関係者ネットワーク構築のための連絡会が設置できないか。